

原子力災害時の広域避難に関する説明会での質問と回答について

令和3年12月19日及び22日に開催した説明会でのご質問と回答を公表します。

1 12月19日（市民会館）

Q1 避難を自家用車ですということですが、東日本の時にも大変渋滞したと思います。その渋滞の交通整理はしっかり誰がやるか決まっていますか。

A 渋滞はおっしゃるとおり予想されることは確かです。警察や自衛隊などの実動機関の協力がなくとも出来ませんので、そういった部分も、現状、完全に整っているかといえばそうではない部分もありますので、しっかりと連携して出来る形を作っていきたいと思っています。

要望 事前の計画をしっかり立てておくようお願いいたします。

A はい、ありがとうございます。

Q2 池新田の自家用車を運転できない高齢の方の集合場所が浜岡中学校の場合に、例えば老夫婦で足が悪くて浜岡中学校まで行けない場合には、車で迎えに来てくれるのでしょうか。

A 市では災害時に要援護者を支援する班があります。その班が、災害時避難行動要支援者を把握するように名簿を作っています。その中で、避難時の行動が難しい方を把握させていただいて、支援が必要な方は誰かを把握し、支援をするよう計画があります。その中で対応していただくことが基本となります。

Q3 福島の場合、放射線プルームの下に避難して行って、被爆したという話を聞いています。Q&A（当日配布）を見ると11番で風向きによって避難ルートは変わるの？の質問に対し、方向は変わりませんということですが、これは大丈夫でしょうか。

A 原則的には放射性物質の放出前に、御前崎市は避難をするので、大丈夫と思います。

更Q 最初の方の質問の渋滞に関係してくると思います。渋滞でスムーズに避難所に行けるのかということと関わってくると思います。そこも考えていただきたいと思います。

A 今の時点では、風向きによって避難する方向は変わらない形になりますが、避難している最中に渋滞をして、追って放射性物質が放出されたようなケースもあるかと思いますが、そのケースによって、そこで避難方向を変えるというのは難しいかと思いますが、原則としては西方が基本となります。

要望 何らかの対応をお願いしたいと思います。

A はい、分かりました。

Q4 Q&A（当日配布）の6番に避難先での生活について触れられていますが、避難先1の場合、1の場合であっても、数日間とか短期間になるかもしれませ

んが避難生活をしなければいけないと思いますが、1の場合でも公共施設の中に避難できる状態になるのか車中泊を余儀なくされるのか、必ず避難先2の方に行くわけではないと思いますが、避難先1の場合の避難先での生活形態はどんなことになるのでしょうか。

- A 避難先1の避難所ですがこれも体育館などです。浜松市の公共施設を避難所として開けていただく形になります。浜松に行く場合は、単独の災害が予想されますので通常に使える施設があると思います。また、複合的な災害でも浜松に避難受け入れ可能という答えをいただければ、浜松に行く場合もあるかもしれません。その場合も浜松の方で使える施設を確認していただいて、受け入れ可能という形で避難させていただくものですから、避難する場所は同じく体育館等の公共施設になるかと思います。

Q5 避難をしなければいけなくなった時に、色々な形の避難形態があるかと思いますが、その人の数とか車の数とか避難形態別の数は把握できていますか。

- A 平成28年度に避難行動実態調査のアンケートを実施しています。その中で、市の指定した避難所に行く方が86.7%という結果があります。それ以外の方は縁故避難される。その他バスで避難される方は概ね人口の5%となるか、そういった部分もそのアンケートの時にいただいています。状況が変わってくれば、変わるのかもしれませんが、今はそのアンケート結果に基づいてどれぐらいのバス台数、例えば5%で試算するとバスが31台必要とか、そういう試算をしています。

要望 計画の実行性を問われた時に、その数によってシミュレーションして結果が出るとお思いますので、何か数字はこのような計画が提示されたことを機会に、正確な数を把握して、それでシミュレーションして、だからこの計画どおりに行けば大丈夫ですよという、恐らく再稼働の議論になった時には、計画の実効性が一番求められるとお思いますので、それに応えるためにも数字を正確に把握するという事に努められれば良いとお思います。

避難先2が長野県ということで、この避難先2に地区別に割り振っているの、生活圏の人たちが同じ避難所に行けるということで評価したいとお思います。もう少し広い範囲の生活圏、小学校区単位ぐらいのグループで出来るだけ近いところに避難したほうが恐らく長期にわたると学校教育の問題が出てくるお思います。そういう時にはできるだけ、せめて小学校単位ぐらいの地区が近くに避難できるように是非、長野県と調整していただいて、恐らく御前崎の8地区の人の割合を提示して長野県側で用意してくれたのだらとお思います。もう少し踏み込んで新野と朝比奈は同じ小学校で普段の生活圏が近いということでグルーピングしたものを長野県側に提示いただいて、再度調整できないか、御前崎市だけの問題ではなく、他市の問題でもあるおと思いますが非常に大変かとお思います。もう一歩踏み込んで検討いただければありがたいお思います。これはお願いです。

- A 今後の参考とさせていただきます。ありがとうございます。

Q 6 原子力災害に関しては今の説明でほぼ分かりましたが、これが複合災害となったら地震の発生の時の原子力災害と重なった場合は、もう少し細かな地域への説明が欲しいのではないかと思います。その辺どうですか、今後の予定はありますか。

A Q&A（当日配布）の19とか20に消防団の方がどうかとか、町内会の役員がどうするか、というところも少し記載してあります。基本的には原子力災害となった時には災害応急活動を中止していただいて、避難をする方にシフトしていく必要があります。その辺をどのタイミングでどういうふうにするか、といったところを整理しないといけない、そういうご意見かと思えます。おっしゃるとおりだと思います。現状では、こういった形というものを作りきれていませんので、そこもしっかりとやっていきたいと思っています。

説明会につきましては、来週の水曜日限りではなく、今後も続けていきます。地区毎や町内会の集まりとか、その中で説明をしてほしいという要望があれば、そちらにもお伺いさせていただきます。危機管理課にご連絡いただければと思っています。

Q 7 情報の発信の方法についてお聞きしたいのですが、先程の動画でも同報無線がメインでの動画であったのですが、この資料にも書いてありますが、緊急メールとかそういったものがどういうふうになっているのか、市内に住んでいる勤務している人だけではなくて、市外の人もありますので、そういう人達がどういふふうタイムリーな情報を入手できるかという事を聞きたいと思えます。県の合同訓練などの時に私のスマホだけではないと思えますが、菊川市の緊急メールは入ってきます。ただ、御前崎市から入ってこない。そういう状況を見ると少し心配になるところがありますので質問させていただきました。

A ガイドマップに書いてあるものは使えるものとして記載してあります。この中で、その時使えるもので周知することが基本になると思えますが、広い範囲で情報を確認していただくとなると、テレビとかラジオ報道機関を使ってのことが考えられると思えます。その他、エリアメールも市から発信していく形になりますので、そういったもので外の方については確認いただく形になるかと思えます。

Q 8 質問事項は本当であれば50~60項目あるので、1点だけ質問と1点お願いです。検査場所にどうしてもその場所に行けない、その地区以外の人間が入っても検査を受けさせてもらえる体制は取れますか、即答できない場合には何らかの形で回答お願いしたいと思います。それとガイドマップの中身で避難する上で自家用車が前提となった場合には、そこまでの距離が目安となると思えます。ガソリンが足りるか足りないかが絶対的に出てくると思えます。ガイドマップ上にはどこかを起点にした距離で良いので目安の距離を入れていただきたいと思えます。

A 現状、検査場所については、指定された検査場所に行っていただく形になります。西方に避難することが基本ですが、東側に親戚があるので東側の検査場所に

行きたいというのはあると思います。その辺は今後も関係機関、避難退域時検査場所は静岡県の所管になりますので、協議をして、皆さまからのご意見も伝えながら調整できればと思います。

自家用車での移動距離につきましては、今回、全戸配布分を印刷してありますので、次に更新する際には、しっかりとその辺も対応したいと思います。ありがとうございます。

Q9 この寒い時期に長野まで行ける車って皆さんどれくらい持っていると思いますか。事前に調べるとか、寒い時にはこの車は自家用車で避難しないでくださいとかそういうことを事前にやっておくべきじゃないですか。

A ご指摘いただきました、冬季の避難、当然のように長野の方は雪が降る地域になりますので、当方としては課題ということを十分認識しております。ですから積雪時の避難につきましては、現在、県・国ともその対応について検討していますので、なるべく対応できるような方策を、これからも細かいところも煮詰めて決定を詰めていきたいと思っております。ご理解いただきたいと思っております。

2 12月22日（文化会館）

Q10 地震を含む複合災害の場合であっても、割とゆったりとした避難フローだと思えます。全面緊急事態は24時間以内には出ないということでは組み立てているのですか？

A 中部電力に地震発生からどの位のスピードで事故が進展して、放射性物質の放出まで至るかということ聞いていますが、想定は、様々なことが考えられるため、確定した事項は言えないというのが答えです。ただし、福島事故の例では、外からの電気も停止している状況から非常用発電機が停止となり、冷却するための機能を全て失ったところから、水素爆発が起きるまでの時間は概ね24時間くらいであったということです。その教訓を踏まえて、浜岡原子力発電所でも自然災害への対策は強化している。だから、24時間以上になるということはないが、確定的な事は言えないが、対策はされているので時間はある程度あるのではないかと考えています。